

(2) コミュニティスクールの合言葉作成

コミュニティスクールでは、学校や保護者だけでなく、地域も一緒に子どもたちの健やかな育成を願っている。5年前には「育もう 未来の芽と郷土愛 ～地域の中に園・学校を 園・学校の中に地域を～」というスローガンのもとスタートし、地域の方々が一体となって子どもたちに郷土愛を育んでいる。今回、「子どもたちにもわかりやすい合言葉」という願いで、各委員から募集し下記のように決まった。学校や保護者、地域の活動の中でも活用している。



【言葉に込めた思い】

- ・「だいすき」は園児、小学校の子どもたちでも読めてなじみやすい言葉。
- ・「SAKAHOGI」は多文化で外国人児童生徒にも共有できる表記。
- ・地域を大好きになってほしいという意味をシンプルに表現。
- ・「だいすき」の後の「！」を入れることで、より好きになってほしいという強い意味を込めた。

(3) 坂祝小中学校新規転入職員の町内巡り

8月21日（月）に今年度坂祝町の小中学校に新しく赴任された先生方を対象にした坂祝町の町内巡りをを行った。史跡や企業を回り、坂祝町の



ことを知っていただくことで、子どもたちへの学習に生かしてほしいというねらいからである。暑い日ではあったが、熱心に坂祝のことを学んでいた。コースは、坂祝神社→火塚古墳→岩谷観音→小西碎石→坂祝町子育て支援拠点施設バンビーニ→猿啄城の麓→十二社神社→若林煎餅である。

(4) 坂祝だいすきの具現

「あいさつの輪を広げよう」

坂祝町コミュニティスクールとして、何か一つのことを、みんなで取り組めることはないかと話し合った。そこで「あいさつの輪を広げよう」と題し、毎月1日は「あいさつ運動の日」として取り組むことになった。以下は、コミュニティスクール新聞より抜粋したものになるが、コミュニティスクール委員はもとより地域住民にも周知し、町全体で取り組んでいる。

あいさつの輪を広げよう CS新聞5月号

毎月1日は「あいさつ運動の日」

小学校、校長先生の経営方針の中に「坂祝だいすき」な子にしたいという内容がありました。そのためには、地域の方々と顔見知りになることが大事であり、その手段の一つとして挨拶を大事にしたいということでした。その思いを受けて、協議本部の3部会で挨拶について話題にしてみました。その結果、月1回の「あいさつ運動」にCSも参加することになりました。地域の皆様も、毎月1日には家の前などで出会った子どもたちと挨拶を交わしていただけたらと思います。顔見知りになることで、子どもたちは安心と安全な地域で過ごすことができます。ご協力をよろしくお願いいたします。

あいさつの輪を広げよう CS新聞8月号

毎月1日は「あいさつ運動の日」

「あいさつ運動」のご協力ありがとうございます。青少年育成町民会議の方々と一緒に運動に参加して下さる方や、ご都合のつく時間に、登下校の子どもたちにあいさつを呼びかけて下さる方など、いろいろな形で参加して下さりありがとうございます。そうした姿は子どもたちの進んであいさつをする姿になって表れてきています。今後ともよろしくお願ひします。

あいさつの輪を広げよう CS新聞11月号

毎月1日は「あいさつ運動の日」

毎月初めに学校で行われている『あいさつ活動』にCSが参加するようになって半年以上が経ちました。「あいさつを通して子どもたちと地域の大人たちが顔見知りになること」を大事に取り進んでいます。おかげさまで、11月のCSでは「子どもたちのあいさつがよくなってきた。」という意見ができました。私たち大人も、家庭や職場・地域などいつでもどこでも気持ちの良いあいさつができていますか、一度自らを振り返ってみてはいかがでしょうか。日に日に寒くなってきました。お身体に気を付けて引き続き皆様のご協力をお願いします。

3 終わりに

坂祝町のコミュニティスクールは5年目を迎え、一つひとつの課題を解決しながら、着実に成果を上げてきた。今後も、坂祝町のすべての子どもたちが「だいすき！SAKAHOGI」になるために、一人でも多くの地域や保護者の方々にご理解とご協力をいただき進めていきたい。